

2020 GB 訓練 実施報告

1. 実施期日 令和3年3月27日

2. 実施場所 玉城青少年の家

3. 参加状況

那覇第1団 1人

那覇第16団 2人

与那原第1団 4人

沖縄第1団 2人

4. 実施後のアンケート

参加した団の指導者に実施後のアンケートを行った。回答の集計は別紙のとおり。

5. 総評(県連盟コミッショナー)

(1) 事業の目的・目標、内容

GB 訓練は次期班長、次長の候補者の育成を目的にし、参加対象を2級以上としている。今回のGB 訓練では、従来のハイキング形式を改めて、技能訓練を取り入れるとともに、スマートフォン等を活用した新しい活動の展開にも取り組んだ。

(2) 各指導者のアンケートに対して

- ① 参加対象を2級としていることから、GB 訓練では進級課目に即して技能の向上を目標に計画を行った。アンケートの中では、スカウトの生活態度、あるいは心構え等にご指摘があることから、各隊の活動において基本的な資質を備えることができるよう、ご指導をいただきたい。
- ② GB 訓練は各隊の指導者と連携、協力して実施するものであり、事前に隊指導者と打ち合わせを行い、技能面の調整を予定していた。しかし、申込の確定が直前になってしまい、十分な調整ができなかった。次回に向けてその課題を解消できるようにしたい。

(3) 安全面に関して

- ① ガス器具の使用に関しては、安全管理上の課題があった。
 - スカウトが持参したガス器具の取り扱いに不慣れで、一部のガス器具に不具合があった。各隊の指導者においては、ガス器具の取り扱いを事前に指導するとともに、器具の管理を徹底していただきたい。
 - ガス器具に対して、大きな炊具(ナベ)を使おうとする場面があり、注意を行った。キャンプ用のガス器具には、使用に適した炊具の大きさがあることから、ガス器具を使用する上での安全面に、細心の注意を払っていただきたい。

(4) スカウトの装備について

① スカウトの装備品の教育的な効果について

- 今回お示した装備品は、一泊ハイクを想定した装備品となっている。
- 食事に関しても、スカウトの装備品を前提にメニューを考えている。
- 今回の訓練では、安易に青少年の家の備品を使用しており、この点においては訓練の教育的な効果を果たせていない。
- 食事については、スカウトの装備品で完結することで教育目標が達成できると考えており、各指導者ともその目標を共有、共通理解する必要があった。事前に準備段階において、各隊で装備品を点検の上、訓練に参加させていただきたい。

(5) まとめ

- ① 各指導者のアンケートを拝見すると、GB 訓練に対するニーズは様々である。訓練の基本的な方針については、各隊指導者との共通理解を図る必要がある。
- ② GB 訓練は本来各隊で行うものであり、県連盟が主催して実施する場合には、時間的な制限もあることから、その目標を改めて明確にする必要がある(参加対象が 2 級スカウトであり、基本的な技能、心構えについては、原隊でご指導いただく)。
- ③ 今回参加したスカウトに関しては、技能、技術面においては基本が備わっており、特にロープワークに関しては、習熟度が高かった。スカウトスキルに関しては、もっと高度な内容にしても、時間内に達成できたと評価している。
- ④ 今回の GB 訓練においては、訓練を通して進歩課目が履修できるように、訓練内容を組み立てており、その目標は満たすことができたと評価している。ハイキング章の取得、信仰奨励(スカウトソウンの進行)に関しては、GB 訓練だけの活動に終わらせず、各隊の通常の活動においても、取り組みを継続していただきたい。